

# 試験問題例

令和5年度に出題された問題を掲載しています。

※ 出題された教養試験、国語試験、論(作)文試験の問題(著作権の関係により公開していない部分を除く。)は、一定期間、警視庁情報公開センター(警視庁本部庁舎1階)及び都民情報ルーム(都庁第一本庁舎3階)で閲覧することができます。

## 1 教養試験

### [I類]

#### (1) 知識分野

[法律] 社会権に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 生存権について法的な拘束力を持たないとするプログラム規定説は、憲法第25条第1項に生存権が国民の権利として明記されていないことを根拠の1つとしている。
- (2) 生存権に関する訴訟として朝日訴訟や堀木訴訟があげられるが、これらはいずれも生活保護基準の設定の是非について争われている。
- (3) 憲法は、すべての国民に、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を保障しているが、義務教育の無償については明記されていない。
- (4) 最高裁判所は、家永教科書訴訟において、教科書検定制度は検閲に該当し、教育を受ける権利を侵害するものとして違憲であると判示した。
- (5) 憲法は、勤労者の団結権・団体交渉権・団体行動権(争議権)を保障しているが、公務員の団体行動権(争議権)は法律により認められていない。

【正答(5)】

[経済] 我が国の株式会社に関するA～Dの記述の正誤の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

- A 株主は、会社が倒産した場合、出資額以上に会社の負債を弁済する義務がない。
- B 2005年に成立した会社法により、株式会社の最低資本金の規定が撤廃された。
- C 株式会社の意思決定機関は株主総会であり、株主1人につき1票の議決権を持つ。
- D 株主は、会社の利益が上がった場合に、所有する株式数に応じて配当を受け取る権利を持つ。

- |     | A | B | C | D |
|-----|---|---|---|---|
| (1) | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| (2) | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| (3) | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| (4) | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| (5) | 誤 | 正 | 誤 | 正 |

【正答(2)】

[地理] 世界の人口に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 人間が居住し生活を営んでいる地域はアネクメーネ、人が常住していない地域はエクメーネと呼ばれる。
- (2) 自然増加とは、ある地域で流入数と流出数の差によって生じる人口の増加をいう。
- (3) 社会増加とは、ある地域で出生数と死亡数の差によって生じる人口の増加をいう。
- (4) 人口転換とは、20世紀後半にアジア、アフリカ、中南アメリカの発展途上地域中心に死亡率の低下によって生じた急激な人口増加のことをいう。
- (5) 地球上における収容可能な人口数を可容人口といい、その値は地球全体の食料生産の総量を1人当たりの需要量で割って得られる。

【正答 (5)】

## (2) 知能分野

[判断推理] ある会社の社員 30 人に海外旅行の経験の有無についてアンケートを行ったところ、アメリカへ旅行したことがある人は 18 人、中国へ旅行したことがある人は 15 人、オーストラリアへ旅行したことがある人は 12 人であった。また、この 3 か国のいずれか 2 か国へ旅行したことがある人は 13 人、3 か国とも旅行したことがある人は 2 人であった。このとき、いずれの国にも旅行したことがない人の数として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 1 人
- (2) 2 人
- (3) 3 人
- (4) 4 人
- (5) 5 人

【正答 (2)】

[数的処理] 次の 4 つの式の A～G には、それぞれ 2～8 のいずれかの異なる正の整数が当てはまる。このとき、E に当てはまる正の整数として、最も妥当なのはどれか。

$$G + A = F$$

$$F - E = B$$

$$A \times B = D$$

$$C \div G = B$$

- (1) 2
- (2) 3
- (3) 4
- (4) 5
- (5) 6

【正答 (4)】

## 〔Ⅲ類〕

### (1) 知識分野

[政 治] 地方自治に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 市町村や東京都区部（23区）は普通地方公共団体であり、基礎的な自治体である点でも共通する。
- (2) 地方公共団体が独自に発行できる公債のことを地方債といい、その発行にあたって国の許可や事前協議は不要である。
- (3) 首長に対する議会の不信任決議は、議員の過半数が出席し、その3分の2以上の賛成で成立する。
- (4) 住民投票条例による住民投票の結果には法的拘束力があり、住民の意思を地方の行政に反映する強力な手段である。
- (5) 地方分権一括法により機関委任事務は廃止され、地方の事務は自治事務と法定受託事務に再編された。

【正答（5）】

[経 済] 我が国の租税に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 戦前は、直接税が国税の60%強を占めていたが、戦後は、シャウプ勧告によって間接税中心主義の税制がしかれた。
- (2) 租税は、納税者と税負担者が同一である間接税と、両者が異なる直接税とに分類される。
- (3) 歳入の中心は租税であり、民主主義の下では、法律に基づいて課税しなければならない、これを租税法律主義という。
- (4) 租税の基本原則のうち、中立の原則とは、課税や納税の手続きがわかりやすく、徴税の経費が少ないことを意味する。
- (5) 1989年に導入された消費税は、所得の格差を考慮せずに一律に課税されるので、所得が高い人ほど所得に対する税負担が高くなる逆進性という問題が指摘されている。

【正答（3）】

[地 学] 地球の内部構造に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 地球の表層部を地殻といい、大陸地殻と海洋地殻とに分けられる。大陸地殻の上部は玄武岩質の岩石、下部は花こう岩質の岩石で構成される。また海洋地殻はほとんどが花こう岩質の岩石で構成される。
- (2) 地殻の下はマントルと呼ばれ、深さが約2900kmまで続く。地殻とマントルとの境界をモホロビッチ不連続面と呼び、上部マントルは主にかんらん岩で構成される。
- (3) 核は、内核と外核に分類される。内核は外核よりも圧力が高いため、外核は固体で、内核は液体の状態である。
- (4) 大陸地殻とマントルの質量組成を比べると、地殻を構成する元素で最も多いのが酸素であるのに対して、マントルではケイ素が最も多い。
- (5) 核の質量組成はニッケルが最も多く8割程度を占めている。そのため地球全体で見てもニッケルが占める割合が2番目に多く、全体の4割以上となっている。

【正答（2）】

## (2) 知能分野

[判断推理] A～Eの5人が卓球（シングルス）のリーグ戦を行ったところ、A、B、Cの3人がそれぞれ3勝し、引き分けの試合はなかった。このとき、確実にいえることとして、最も妥当なのはどれか。

- (1) AはBに勝った。
- (2) BはCに勝った。
- (3) CはDに勝った。
- (4) DはEに勝った。
- (5) EはAに勝った。

【正答 (3)】

[数的処理] 町内でマラソン大会を実施することにした。スタート地点に出走者を横並びに8人ずつに並べせると最後の列が2人、10人ずつにすると最後の列が2人、11人ずつにすると最後の列が9人となることが分かった。14人ずつ並ばせたとき、最後の列は何人になるか。ただし、出走者の人数は400人以上500人未満とする。

- (1) 6
- (2) 7
- (3) 8
- (4) 9
- (5) 10

【正答 (1)】

## 2 国語試験

A ( )内の漢字の読みが妥当な文を(1)～(5)の中からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。(I類)

- (1) 二つの作品には(画然)とした違いがある。 がぜん
- (2) (苛烈)な生存競争を生き抜いた。 つうれつ
- (3) 加害者に(怨恨)を抱いている。 おんこん
- (4) 来賓を(恭)しい態度で迎えた。 うやうや
- (5) 神社でお(神酒)をいただく。 みしゅ

B ( )内の語句に相当する漢字を含む文を、次の(1)～(5)の中からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。(III類)

(コキヤク)が満足する商品を提供する。

- (1) 1頭の象が群れから(コリツ)した。
- (2) 不況のためやむを得ず従業員を(カイコ)する。
- (3) 会社の(コモソ)弁護士を引き受ける。
- (4) 辞書で(コジ)成語の由来を調べる。
- (5) 日記を読んで(カコ)の出来事を振り返る。

## 3 論(作)文試験

|      |   |
|------|---|
| I類   | これまで最も苦勞した経験に触れ、そこから学んだことをどのように警察官の仕事に活かしていきたいか述べなさい。 |
| III類 | あなたが警察官として大切にしていきたいと考えることを3つ挙げ、その理由も述べなさい。            |